

令和 2 年度中野市立博物館協議会

審議会等の名称	中野市立博物館協議会
担当課（連絡先）	中野市立博物館 電話 22-2005（内線：8122）
開催日時	令和 2 年 10 月 29 日（木） 午後 2 時から午後 4 時 45 分
開催場所	中野市立博物館 大研修室
出席委員	大西浩次委員、志川真一委員、菅沼住子委員、関うた子委員、田端智子委員、水澤教子委員、宮下宏委員、山崎圭委員、湯本巖委員
出席職員	堀内教育長、土屋館長、小林副館長、大滝主査、柳生学芸員
会議資料	令和元年度博物館事業実績（資料 1）、令和 2 年度博物館事業経過及び事業計画について（資料 2）、プラネタリウム関係資料
会議内容	<p>委員 9 名中 9 名が出席。博物館条例第 17 条第 2 項により過半数の出席で成立するため、本協議会は成立。</p> <p>協議会委員の任期は令和 2 年 6 月 1 日から令和 4 年 5 月 31 日まで（関委員は 6 月 25 日から）。</p> <p>委員委嘱後、最初の協議会であるため、会長及び会長職務代理者を選出（会長は大西委員、会長職務代理者は水澤委員）。</p> <p>（1）令和元年度博物館事業実績について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 1 をもとに小林副館長が説明。 ○博物館ではさまざまな講座を開催しているが、講座の講師は誰がやっているのか。 <ul style="list-style-type: none"> →博物館学芸員が担当する場合と外部講師に依頼する場合があります、電子工作・天文関係は外部講師に依頼している。 ○他の生涯学習施設でも似たような体験講座を開催している場合があると思うが、博物館の講座と他の講座はどう違うのか。 <ul style="list-style-type: none"> →博物館の講座では、体験や作業に入る前に必ず「学び」の部分を入れるようにしている。 ○展示スペースが足りない部分については、出張展示（廃校の空き教室を活用するなど）で補うことができるのではないだろうか。 <p>（2）令和 2 年度博物館事業経過及び事業計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 2 をもとに小林副館長が説明。 ○新型コロナウイルスの影響についてはどうか。 <ul style="list-style-type: none"> →4 月 2 日（木）～5 月 15 日（金）、7 月 30 日（木）～8 月 7 日（金）は閉館。前年比で利用者は大きく減少。「おうちでプラネタリウム」として HP 上で公開するなどの試みを実施。

	<p>(3)その他</p> <ul style="list-style-type: none">・令和3年度のプラネタリウム運営予定について小林副館長が説明。
その他	特になし。